



亀谷 梢 議員



赤間運動公園及び周辺活用について

質 トレーニングルームの機材の導入状況について伺う。

答 社会教育課長（山田 俊幸）

令和4年度まではベンチプレスを含め16器が導入され、令和5年度には、ダンベルやベンチプレス等8器が追加導入され合計24器を活用している状況です。今後は優先順位に基づいて村民が快適にトレーニングに励まれるよう、器具の導入に向けて関係課と調整を図り、進めたいと考えています。

質 健康増進センター・親子で遊べる遊具等の設置について話合いの進展はあったか伺う。

答 社会教育課長（山田 俊幸）

健康増進を目的とする器具が一部設置されている状況です。親子で遊べる遊具の設置については、公園のレク

リエーション機能が未整備な状況になっていきます。村民の日常的な利用のほか、各種大会、イベント時の休憩の際にも必要なものと認識します。赤間総合運動公園機能強化整備計画書の中で、公園施設整備を計画しています。関係課と調整を図り、早期実現に向けて進めていきたいと考えています。

恩納村健康運動応援事業の成果について

質 恩納村健康運動応援事業の利用状況、年齢と利用人数を伺う。

答 健康保険課長（富山 香織）

令和5年度の利用者数は65名、令和6年度4月から10月までの7か月間の利用者数は約100名、延べ220名、70代以上が全体の2割を占めており、10代以下も2割程度です。40代、50代、60代は、全体の15%程度、最も利用者数が少ないのは20代の4%です。本事業を継続し多くの方が運動習慣を維持していけるよう支援します。

うんなまつりについて

質 うんなまつりの趣旨を伺う。

答 村長（長浜 善仁）

村民主体のまつりに同感です。情報収集不足なところがあります。色々な情報を皆様からいただいて、来年度のイベントをさらに充実させていければと思います。今年度5月にサンシャイ

答 商工観光課長（親泊 誠）
村民総参加のまつりを企画、推進し村民、各事業所、各団体間の親睦と融和を図り、恩納村総合計画に掲げる将来像に向けた村づくりに寄与することとしています。

質 子供たちの、自分の力を発揮する場所が少ないとの声も聞こえます。実行委員の中からその声はなかったか、人材育成の観点からも今後どう考えるか見解を伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

育成の観点からも次年度以降は子供たちも含めたより多くの村民が参加いただけるように、実行委員会及び運営委員会においても、文化協会のほうにも参加いただき、プログラム等について御意見いただければと考えています。

質 今回のエイサーの盛り上がりを見ていると、今年サンシャイに行くのは予算も足りなかったと思います。青年会の士気を上げるためにも、予算検討できるか村長の見解を伺う。

答 村長（長浜 善仁）

村民主体のまつりに同感です。情報収集不足なところがあります。色々な情報を皆様からいただいて、来年度のイベントをさらに充実させていければと思います。今年度5月にサンシャイ

ンシティに、恩納区の青年会が参加、本当に大成功に終わったと思っています。ほかの青年会も出たいという意見もたくさん出ています。そういったのも踏まえて、来年度予算化に向けていきたいと思っています。

ツルノモトについて

質 現在の繁殖状況を伺う。

答 村民課長（山城 達也）

現状調査等は行っていませんが、恐らく村全域に繁殖していると思います。前回質問があったので、周知のほうは広報誌とホームページで行っています。

質 今後の対策として、農林水産課との連携も必要ではないか、農林水産課長として村内回っての見解を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

村内全域に繁茂しており、遊休地や管理を怠った農地から広がる傾向があり、特にサトウキビが影響を受けています。農林水産課での取り組みとしては農家に対し定期的な除草作業の重要性を周知するとともに遊休農地の活用促進に努めていきたいと考えています。

2023年度 恩納村ふるさとづくり応援寄付金事業概要

歳入合計 28億9,015万7,300円

歳出合計 15億5,376万1,203円

基金積立額(単年度) 13億3,639万6,097円

・主な歳出の内訳は、商工会委託手数料(返礼品等も含む)、WEB使用料、決済システム、ワンストップなどとなっています。

～主な返礼品～
各ホテルの宿泊券、JTB旅行クーポン、海ぶどう・マンゴー等の特産品



そもそも…ふるさと納税とはなんだろう？

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄付(ふるさと納税)を行った場合に、寄付額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です(一定の上限有り)。例えば、年収700万円の給与所得者の方で扶養家族が配偶者のみの場合、30,000円のふるさと納税を行うと、2,000円を超える部分である28,000円(30,000円-2,000円)が所得税と住民税から控除されます。

控除外	控除額		
適用 下限額 2,000円	所得税の控除額 (ふるさと納税額-2,000円) ×所得税率	住民税の控除額(基本分) (ふるさと納税額-2,000円) ×住民税率(10%)	住民税の控除額(特例分) 住民税所得割額の2割を限度

2023年度 恩納村

ふるさと納税 寄附金活用実績

皆さまからのあたたかいご支援、大切に活用させていただいております!



のご報告

1

自然景観・環境・地域振興に関する事業

【R5年度】海・海浜・集落等の景観維持

恩納村は2018年7月、「サンゴの村宣言」を掲げ、サンゴに優しい村づくりの一環で、サンゴ礁のリーフチェックや、「恩納村Save the Coralプロジェクト」として、村内における海岸の清掃活動など、サンゴや環境保全活動の取り組みに力を入れております。



サンゴの植え付け活動



Save the coralプロジェクト

リーフチェック

2

未来を担う人材育成事業

【R5年度】青少年野外活動の実施



恩納村では、村内の小中学生が参加する「サバイバルキャンプ」というイベントがあります。本イベントでは、村内にある無人島で2泊3日を通じ、肉体系や精神面を鍛える体験活動内容となります。



3

村におまかせ事業

【R5年度】村まつり事業



恩納村では2大祭りとして、「うんなまつり(10月頃)」と「恩納村産業まつり(2月頃)」が開催されます。

特にうんなまつりでは、県内でも珍しい、「さかなつみ大会」という大会が開かれ、村内の子どものキラキラとした笑顔が見られます。



各使い道への 寄附金充当額

#01	村におまかせ事業	【充当額】177,088,000円
#02	すべての子どもに笑顔と健康を支援する事業	【充当額】120,460,000円
#03	未来を担う人材育成事業	【充当額】10,138,000円
#04	自然景観・環境・地域振興に関する事業	【充当額】177,307,000円
#05	防災・安心安全整備に関する事業	【充当額】5,109,000円
#06	地域支援・福祉に関する事業	【充当額】8,840,000円

